



第四回 平和の舞<神楽の学校 2026in アステールプラザ> —現代によみがえる“儀式舞”—[レクチャー・ワークショップと神楽公演] 4th KAGURA for Peace <“the School of Kagura”2026 in Astel Plaza> —Lecture, Workshop and the Performance of Kagura— Reintroduction of *Gishiki-mai*(Ritual Dance) :in the modern times.



ヒロシマ・ミュージック・プロジェクト代表 総監督 伴谷晃二 作曲家/エリザベト音楽大学名誉教授
Chief Director TOMOTANI, Koji

神楽は本来「地域文化」の共同体から醸しだされてきたものであり、「農耕儀礼と奉納のみならず、亡くなられた多くの方への“鎮魂と再生と復興”を原意とする。本プロジェクトはく多文化社会と共生」の理念のもとに「平和の舞」として、くヒロシマからのメッセージ“負の遺産 核兵器廃絶・平和への希求”を世界に発信し祈念することを目的としています。今回、「第二回平和の舞く神楽の学校 2022in アステールプラザ」現代によみがえる“儀式舞”比婆荒神神楽他—[レクチャー・ワークショップと神楽公演]—では、儀式舞を基軸とし、旧舞—新舞へと発展して行った受容過程に着目し、子どもたちから一般社会人まで、世代を越えて関われる地域社会における“神楽”を展開してまいります。卓越した文化力を誇るくひろしま神楽>は、“鎮魂と再生と復興”“農耕儀礼と奉納”他、“自然との共生”を私たちに多くの示唆を与えています。また今回、国指定重要無形文化財として認定されている備中神楽北山社中を賛助出演としてお迎えご紹介いたします。

このような進捗状況を踏まえて、基軸となる儀式舞とその発展であるく伝統神楽>の旧舞や新舞、そしてく創作神楽>への応用発展等について、神楽の歴史やワークショップや公演他を通して、くひろしま神楽>の継承と後継者育成他、神楽文化・芸術の発展に貢献できれば幸いです。

★平和の舞く神楽の学校プロジェクト>ご協賛・ご寄付のお願い

趣旨・目的

2020 年から 2026 年にかけて、さくらびあアステールプラザにおいて、「平和の舞く神楽の学校」を開催し今回で 4 回目となります。偶数年のホールでの神楽公演に対して、今後奇数年に各地域の神社でく儀式舞“奉納神楽”>の公演を計画しております。奉納神楽の原点である神社での開催に向けて、一層企画内容の充足を図るため、みなさまのご協賛・ご寄付を賜うことができればありがたいと思います。なお、一部はく神楽文化の振興>とく後継者育成>のためにご尽力・ご協力いただきます地元神社に納めさせていただきます。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

レクチャー

田邊英男(元広島県立歴史民俗資料館長) TANABE, Hideo



広島県には、南西部に「十二神祇神楽」、北西部に「芸北神楽」、南東部に「備後神楽」、北東部に「比婆荒神神楽」や「比婆斎庭神楽」、そして沿岸部や島しょ部に独特な神楽が伝わっています。こうした地域色豊かな神楽は、各地域が接する周辺他県の神楽の影響を受けて誕生したもので、広島県が古くから積極的に周辺の文化を取り入れ、独自の文化を発展させてきた歴史を物語っています。今回は「神楽県ひろしまⅡ」として、多彩な県内の神楽、その歴史をひも解いてみます。

また、これらの神楽の中から神楽本来のを最もよく伝えている「比婆荒神楽」を取上げ、神を迎え、舞や儀式を奉納し、神を送り、その後にも地域の人々が行事を楽しむ「式年大神楽」の様子をご紹介します。自然や祖先の霊を畏れ敬って大切にしてきた先人たちの心をお伝えしたいと思います。

対談 旧舞×新舞

旧舞 津浪神楽団 末田健治
Old Kagura dance Style
Tsunami Kaguradan SUEDA, Kenji



新舞 横田神楽団前団長 久保良雄
New Kagura dance Style
Yokota Kaguradan KUBO, Yoshio



【芸北神楽Ⅰ】津浪神楽団(安芸太田町) 団長 末田健治
Chief of Tsunami Kaguradan SUEDA, Kenji

昭和6年河内神社を主祭神とし、その氏子により「津浪神楽団」として設立。石見神楽の流れを汲む矢上系山県舞の伝統を守り、六調子の旧舞を主体に継承し、今日に至る。活動は、地元をはじめ広島市等各地の秋祭りの神楽奉納、イベント出演や神楽競演(共演)大会等の出演。昭和57年「第3回広島文化賞受賞」、平成23年「日本の祭りインバウンド公演」、平成30年「広島神楽グランプリ 第20グランプリ受賞」(旧舞の部)

賛助出演【芸北神楽Ⅱ】横田神楽団(安芸高田市) 団長 谷本陽荘
Chief of Yokota Kagura TANIMOT, Youso



横田神楽団の歴史については定かではありませんが、古老の話等から推測すると、江戸時代末まで遡ることができる。当神楽団では、高田八調子系(旧舞)を伝承してきたが、昭和20年代に入り新舞が創作されると、いち早く新舞に取組み、昨今は新舞中心の奉納活動を行っている。今後も後継者育成に努めるとともに、先人より伝承されてきた神楽の原点にこだわりをもち、伝統芸能の伝承に精進したい。

★ご協賛・ご寄付のお申込み

く神楽の学校 プロジェクト> *パンフレットにご芳名を掲載いたします。

ご協賛・ご寄付のお願い！ 一部を各地域の神社にご寄付！

FAX0829-38-2264/メールアドレス kozz6290@yahoo.co.jp

締め切り:2026 年 10 月 15 日(木)

お名前(個人) ふりがな *匿名希望の場合は、その旨、お知らせください。
企業・団体名

住所:〒

電話番号:
メールアドレス:

ご協賛・ご寄付 ☐にチェックを記入ください。*招待券プレゼント当日受付
☐10,000 円 ☐×口数 ☐ペア券1枚
☐5,000 円 ☐×口数 ☐一般券1枚

口座名義:ヒロシマ・ミュージック・プロジェクト
振込口座:広島銀行廿日市ニュータウン支店
(普)口座番号 3060097

賛助出演 備中神楽北山社中(岡山・井原市)
代表 鳥越孝太郎
Chief of Bichu Kagura Kitayama Shachu TORIGOE, Kotarou



昭和54年には、国の宝、
国宝として重要無形民俗文化財に指定され全国に知られる郷土芸能に発展し国内だけでなくヨーロッパやアメリカ、アジア各国で海外公演に出かけ日本文化の紹介をしてまいりました。今後は世界遺産を目指し、ユネスコ無形文化遺産の登録を目標に伝統文化の振興発展に努めています。

備中神楽は豊作に感謝し健康を祈るために、神社に奉納する神事芸能です。井原市北山町から発祥した北山社は明治、大正、昭和、平成そして令和と激動の中で132年間、地域の氏子皆様が神楽ファンに愛され、進化発展して参りました。神楽は難解なところも多々あると思いますが古い伝統は残しつつもより分かりやすく未来の子供たちに伝えております。

【ワークショップ】

砂庭神楽団(北広島町) 団長 丸岡忠司

Chief of Saniwa Kaguradan MARUOKA, Tadashi



「砂庭神楽」は、江戸後期に壬生神社の井上宮司によって結成され、中世からの神楽に石見神楽を取り入れた厳かで優雅な舞いが特徴です。井上家は中世神楽古文書「荒平舞詞」「五形祭文」を所蔵し、これらの舞いは県内外に伝わっています。また石見神楽を招へいし郡東部に広め、明治前期に創作した「長髓彦征伐」は北広島町無形民俗文化財に指定されています。砂庭神楽団は先人に感謝しつつ、独自の舞いの練磨と継承に努めています。